

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 (化学名、商品名等) ルビロンリムーバーF-16

会社名 トヨポリマー株式会社

住所 〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原5-5-17

担当部門 管理室

担当者 関 善夫

電話番号 (06)6397-8015

FAX番号 (06)6397-8315

メールアドレス seki@toyopolymer.jp

緊急連絡先 管理室

(06)6397-8015

推奨用途および使用の制限 接着剤の除去

整理番号 RR093-1

作成 2003年10月31日
改訂 2016年9月1日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	吸引性呼吸器有害性	区分1

記載がないものは分類対象外、もしくは分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

- ・引火性液体及び蒸気
- ・皮膚刺激
- ・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

[安全対策]

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・推奨用途以外には使用しないこと。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

[応急措置]

- ・火災の場合：安全第一で、適切な消火剤を使用し消火すること。
- ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- ・皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。
- ・衣服にかかった場合：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・漏出した場合：乾いた砂やウエス等により、拭き取り回収すること。

[保管]

- ・容器を密閉して直射日光の当たらない5～35℃下で、換気の良い場所で、施錠して保管すること。
- ・法令で定められた限度内で、場所を決めて保管すること。

[廃棄]

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報

消防法：危険物第4類第2石油類(非水溶性)危険等級Ⅲ

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : 合成イソパラフィン系炭化水素

成分及び含有量 : イソパラフィンとして 100wt%

C10以上のイソパラフィン : 90~99wt%

ノナン⁽¹⁾ : 1~6wt%

(注) (1) : 労働安全衛生法(表示対象物質、通知対象物質)

官報公示整理番号(化審法) : (2)-10

CAS No. : 68551-16-6 (AlkanesC9-11, iso)

68551-17-7 (AlkanesC10-13, iso)

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動する。不快感のある場合は、直ちに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 : 清浄な水で約15分間洗眼し、痛みが残る場合には医師の診断を受ける。

洗眼の際、眼瞼を指でよく開いて眼球、眼瞼の隅々まで水でよく行きわたるように洗う。

皮膚に付着した場合 : 製品に触れた部分を水及び石鹸で十分に洗い流す。外観に変化があるか、痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 揮発性液体なので、嘔吐させるとかえって危険が増す。無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受ける。水で良く口の中を洗ってもよい。

5. 火災時の措置

消火剤 : 二酸化炭素、泡、ドライケミカル

使ってはならない消火剤 : 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

消火方法 : 初期火災の場合、粉末、炭酸ガスなどを用いる。

大規模火災の場合には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。

周辺火災の場合には、周囲の設備などに散水し冷却する。

消火にあたる者の保護 : 消火作業は風上から行い、特に密閉された場所で消火の作業に従事する者は、必ず自給式呼吸具を着用する。

6. 漏出時の措置

人への注意事項、保護具及び緊急時措置 :

付近の着火源となるものは速やかに取り除く。作業の際、保護具を着用する。

風下で作業をしない。

環境への注意事項 : 漏出物が河川等へ流出しないよう、注意する。

回収、中和 : 少量の場合は、乾燥砂又はおがくず等に吸収させて、化学物質専用の場所で焼却

又は廃棄処理する。

多量の場合は、土砂等で囲み、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 火気、静電気、衝撃火花など着火源の生じないように注意する。

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、換気の良い場所で作業をする。

できるだけ密閉された設備、機器又は局所排気装置を使用する。

漏洩を防止する。

保管 : 冷暗所に貯蔵。貯蔵タンクは全てアースし、スパークしない用具、装置を使用する。

混触危険物質 : 強酸化剤

容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値(2002) : 設定されていない

ACGIHへ勧告値(2002) : 設定されていない

参考として成分でノナンの許容濃度を記す。ACGIH(TWA) : 200 ppm

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された設備、機器又は局所排気装置を使用する。

取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具 : 呼吸用保護具 : 防毒マスクを着用する。

手の保護具 : 状況に応じ、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。

眼の保護具 : 状況に応じ、保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：無色透明液体

沸 点：166°C以上

爆発範囲 下限：0.6% 上限：6.2%

比 重：0.762 (15°C)

臭 い：僅かな炭化水素臭

引火点：49°C(密閉式)

蒸気圧：—

自然発火温度：200°C以上

10. 安定性及び反応性

安定性：熱、光に対し安定。

反応性：強酸化剤と反応し火災や爆発の危険がある。

混触危険物質：過酸化剤、強酸化剤

11. 有害性情報

急性毒性：経口 LD₅₀ 2000mg/kg以上(限度試験)

C10-13を主成分とする n-, iso-パラフィン及びシクロアルカンの混合物では5000mg/kg以上

吸入 データなし

皮膚腐食性及び刺激性：ウサギで中ぐらいの皮膚刺激性を示す。PII=3.0

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：ウサギで刺激性なし。

呼吸器感受性：データなし。

皮膚感受性：なし(蒸留範囲が若干異なる製品の結果)

生殖細胞変異原性：C10-13を主成分とするn-, iso-パラフィン及びシクロアルカンの混合物ではin vitro, in vivoとも陰性。本製品はC9-12のiso-パラフィンであり変異原性はないと推定される。

発 がん 性：国際的機関で発ガン性と評価された例はない。

生 殖 毒 性：C10-13を主成分とするn-, iso-パラフィン及びシクロアルカンの混合物では生殖毒性なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分外。

C9-13を主成分とするn-, iso-パラフィン及びシクロアルカンの混合物の12週吸入試験でNOAEL=2000mg/m³。

吸引性呼吸器有害性：炭化水素で粘度が低いので肺に入ると危険である。

12. 環境影響情報

水性環境有害性(急性)：水に対する溶解性が極めて低く溶解度以下では有害影響はないと推定される。

水性環境有害性(長期間)：C8以上のイソパラフィンは概ね難分解であるが低蓄積性である。

オゾン層への有害性：データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄する場合は、焼却によって行う。その際、焼却炉の火室へ噴霧し焼却してもよい。廃棄物の処理を委託する場合は、都道府県の許可を受けた業者に委託する。

汚染容器及び包装：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の条例に従い適切な処分をする。

14. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、化学物質に関する一般的注意による。

国連分類 : 3 引火性液体類

国連番号 : 3 2 9 5 炭化水素類(液体)、n. o. s.

15. 適用法令

労働安全衛生法

表示対象物質(第五十七条 施行令第十八条) … 該当(ナシ)

通知対象物質(第五十七条の二 施行令第十八条の二) … 該当(ナシ)

化学物質管理促進法 (PRTR法) … 非該当

毒物及び劇物取締法 … 非該当

消防法 … 危険物第4類第2石油類(非水溶性)危険等級III

船舶安全法

危険物船舶運送及び貯蔵規則 … 引火性液体類

海洋汚染防止法 … 有害液体物質(Y類) Nonane(all isomers), Iso- and cyclo- alkanes(C10-C11)及びDodecane(all isomers)の混合物

16. その他の情報（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

ルビロンリムーバーF-16はアスベスト及び厚生労働省の指定する化学物質(14物質)は含んでおりません。

- 参考資料：
- ： 化学物質管理促進法対象物質全データ（化学工業日報社）
 - ： 各社使用化学製品の「製品安全データシート」
 - ： GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構）
 - ： GHSモデルMSDS情報（安全衛生情報センター）

- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成していますが、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・ 取扱いに際しましてはご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。